

回答については、質問時の基準に沿って回答しておりますので、現時点とは異なっている場合もございます。

## Q22（血液培養）

血液培養2セット提出について質問します。

血液培養に関しては、成書では2セット提出すべしとされています。ただし現在のところ保険審査では1セットしか認められておりません。前医で8年ほどInfection control team（ICT）のチーフの立場から、可能ならば2セット提出を指導してきました。2セット提出により大変精度があがったと思います。

血液培養2セット提出について日本感染症学会の見解など明文化されたものがありますでしょうか。ご教示下さい。学会のセミナーなどでは、「かつてアスピリンが虚血性心疾患に認められていなかった時に、全国の循環器内科医が処方し続けた結果認められた経緯に習って血液培養2セット提出を励行していきましょう」（2010環境感染学会）と聞きます。明文化されたものがありますと関係者を説得し易いと思います。

## A22

血液培養の2セット提出について、日本感染症学会の見解など明文化されたものはありません。

ご指摘の通り、血液培養に関しては少なくとも2回以上、頻繁に採取することの有用性は確立しています。このことは、日本感染症学会関連の成書として、日本感染症学会・日本化学療法学会編「抗菌薬使用の手引き」（2001年、協和企画）、日本感染症学会・日本化学療法学会編「抗菌薬使用のガイドライン」（2005年、協和企画）、一般医療従事者のための深在性真菌症に対する抗真菌薬使用ガイドライン作成委員会編「抗真菌薬使用ガイドライン」（2009年、日本化学療法学会）に記されていますので参考にしてください。

回答については、質問時の基準に沿って回答しておりますので、現時点とは異なっている場合もございます。

### Q23（血液培養、消毒）

血液培養実施時の穿刺部皮膚消毒法についてお尋ねします。

今までイソジン消毒が伝統的に行われてきましたが、最近ではアルコール消毒だけで良いとの考えで実際に実行している施設が増えている状況と聞きます。

日本感染症学会の公式な見解として最善の方法をご教示下さい。

院内で統一し徹底するために質問致します。

### A23

血液培養のガイドラインは公表されていないので、最も適切と思われる手順を延べます。大切なことは、最初に皮膚穿刺部位の汚れを物理的に除去することです。そのために、穿刺部位と周辺を70%アルコールで擦るようにして消毒します。その後、ポビドンヨードにて消毒することになります。施設によっては2回ポビドンヨード消毒しているところもあります。

米国では1~2%のヨードチンキや、0.5%のクロルヘキシジン入りアルコールでの消毒を推奨している報告もあります<sup>1,2,3)</sup>。ポビドンヨードとヨードチンキの比較をした研究では後者の方が汚染率が有意に少なかったとしています(2.4% vs 3.8%)。クロルヘキシジン入りアルコールとポビドンヨードを比較した研究では、前者の方が汚染率が少なかったとしています(1.4% vs 3.4%)<sup>3)</sup>。皮膚消毒が不十分な場合には血液培養結果が汚染菌を示すため、意味のない抗菌薬を投与することになります。DPCの病院では病院負担が増大しますので、アルコールのみの簡単な消毒は避けるのがよいと思われれます。

マニュアルを作成する場合には、少なくとも2セットを実施することと、臍径部からの採取は避けるようにすることも記載されるとよいと思います。また、消毒してから1~2分程度待って、消毒薬が乾燥してから採血することも大切です。

1. Little, JR, et al. A randomized trial of povidone-iodine compared with iodine tincture for venipuncture site disinfection: effects on rates of blood culture contamination. Am J Med 1999; 107:119. <<http://www.uptodate.com/contents/blood-cultures-for-the-detection-of-bacteremia/abstract/1>>
2. Strand, CL, et al. Effect of iodophor vs iodine tincture skin preparation on blood culture contamination rate. JAMA 1993; 269:1004. <<http://www.uptodate.com/contents/blood-cultures-for-the-detection-of-bacteremia/abstract/2>>
3. Mimoz, O, et al. Chlorhexidine compared with povidone-iodine as skin preparation before blood culture. A randomized, controlled trial. Ann Intern Med 1999; 131:834. <<http://www.uptodate.com/contents/blood-cultures-for-the-detection-of-bacteremia/abstract/3>>